

○民事調停の申立てについて
正当な理由がなく長期にわたり市営住宅の家賃を滞納している相手方に対し、滞納停を求めるもの。

○市道路線の変更について

変更区間（小高区川房字反田39番3地先～7地先）

○福島県市民交通災害共済組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合規約の変更に関する協議について

「伊達市」が新たに加わり議員の定数が21名になった。

○専決処分の報告及びその承認について

①損害賠償の額の決定及び和解について
②福島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び同組合規約の変更について（会津地区広域事業組合の脱退）
③福島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び同組合規約の変更について（三島町外2町1ヶ村衛生処理組合の脱退）

○人権擁護委員の推薦について
意見を求めるについて

●本間洋子氏

◆在職35年で表彰
総務大臣より、小林一成議員、郡俊彦議員の2名が感謝状を受けました。

議員表彰



郡俊彦議員 小林一成議員

採択された請願

受理事業番号	件名	提出者	紹介議員	付託委員会
請願7	烏崎牛島開発に伴う烏崎部落要望書の実現並びに原町火力発電所建設に伴う未解決要望事項の早期実現を求めるについて	南相馬市鹿島区烏崎字浜25 烏崎行政区長 桑折馨ほか3人	西銘治	総務
請願12	安全で行き届いた医療・看護をするために、医師・看護師等の人手不足の緊急改善を求める意見書の提出について	福島市五月町2-5 福島県医療労働組合連合会執行委員長 斎藤富春	佐藤英彦	民生福祉
請願13	消費税の大増税に反対する意見書の提出について	南相馬市原町区日の出町189-2 相双民主商工会会長 紺野重秋	亀田俊英 荒木千恵子	総務
請願14	行き詰ったWTOに代わる食糧主権に基づく貿易ルールと農業・食糧政策の確立を求める意見書の提出について	南相馬市鹿島区北右田字八斗沢59 南相馬市農業を守る会会長 佐藤景信	櫻井小林 勝延吉久	建設経済

継続審査となった請願・陳情

受理事業番号	件名	提出者	紹介議員	付託委員会
請願11	福島県商業まちづくりの推進に関する条例を遵守し、南相馬市金場地区の農振除外及び都市計画地域の変更に反対することについて	南相馬市原町区橋本町一丁目35番地 相双地域のまちづくりを考える会代表 鈴木清重ほか2人	小川尚一 鈴木一男	建設経済
陳情5	金場地区農振除外促進について	南相馬市原町区大木戸字大切橋257番地 金場地権者会会長 酒井喬ほか24人		建設経済

請願・陳情の提出をされる方へ

次回の12月定例会においては、12月4日(月)午後4時までに提出して下さい。

議案第147号 平成17年度小高町一般会計歳入歳出決算認定について

賛成討論 小高区の住宅政策で、小高区に住みたい人が小高区に住めないということは私たちには今まで何のために努力をしてきたのかという、正に忸怩たる思いである。児童の急激な増員に対応するため臨時的に措置したもので、18年度においても状況は変わらないが、今後本庁と協議をしていきたい。

質疑 タラソテラピーの問題で、17年度の予算計上時から12月の決算終了時までどのような進展があったのか。また、地元との協議について問

答弁 17年度正職員7名、臨時職員21名の体制で、入所児童の増員に対応するため臨時的に措置したもので、18年度においても状況は変わらないが、今後本庁と協議をしていきたい。

議案第148号 平成17年度鹿島町一般会計歳入歳出決算認定について

賛成討論 小高区の住宅政策で、小高区に住みたい人が小高区に住めないということは私たちには今まで何のために努力をしてきたのかといっただけに、小高区内の実情を汲み取りながら、小高区に住み続けられるような状況づくりをしつかりするよう意思を申し上げて賛成。

質疑 タラソテラピーの問題で、17年度の予算計上時から12月の決算終了時までどのような進展があったのか。また、地元との協議について問

答弁 17年度正職員7名、臨時職員21名の体制で、入所児童の急激な増員に対応するため臨時的に措置したもので、18年度においても状況は変わらないが、今後本庁と協議をしていきたい。

議案第149号 平成17年度原町一般会計歳入歳出決算認定について

賛成討論 予算計上の段階でも東北電力からの協力金4億5,000万円等の問題、さらには地元との協議合意も出来ていないと実態を見て、タラソテラピーに関する予算の計上の仕方、大きな問題があつたと思うし、進展が無かったという点から考えて、本決算認定には反対。

質疑 旧鹿島町議会は、4億5,000万円についても満場一致で公金にするとした経過がある。それで17年度予算もできている。鹿島区発展のために職員も全力で予算執行をしたもので賛成。

採択の結果 原案のとおり認定。

議案第151号 平成17年度南相馬市一般会計歳入歳出決算認定について

賛成討論 実質公債費比率が15.8%になつていることは、3市町の懸命な財政運営の結果が反映されていることと思ふが、起債制限比率や将来を見据えるときに投資的経費比率を確保すべきと考えるが、将来的なことも含めて健全な財政運営をしていかなければならないと考え、投資的経費についても、現実的な見解を伺いたい。

質疑 実質公債費比率が15.8%になつていることは、3市町の懸命な財政運営の結果が反映されていることと思ふが、起債制限比率や将来を見据えるときに投資的経費比率を確保すべきと考えるが、将来的なことも含めて健全な財政運営をしていかなければならないと考え、投資的経費についても、現実的な見解を伺いたい。

答弁 ①は、年度末残高は、2億2,902万9千円である。
②は、原町火力発電所の立地に係る要望書と牛島開発整備事業とは基本的に異なる事業で構成している。しかし経過の中で牛島開発整備事業と原町火力発電所の立地に係る要望事項に係る部分と、旧鹿島町の執行部段階で整合させている段階である。温泉掘削を行なう形で事業の執行を行う旨の回答をしていることを協議して地元の要望を取り入れた形で進んでいる。
③は、予定の揚水量を確保できない状況だが、維持管理に係る部分については賄える。



▲決算審査特別委員会の様子

	小高区	鹿島区	原町区
総務常任委員会	鈴木一男	細田広	◎小武海三郎
民生福祉常任委員会	志賀稔宗	鈴木清教	山田雅彦
建設経済常任委員会	亀田俊英	鈴木貞正	坂本恒雄
文教常任委員会	○安部常晴	但野武光	宝玉義則

◎委員長 ○副委員長